

未来の人財育成委員会		理事委員長	尾関利文
(1)基本方針			
<p>静岡青年会議所は、時代の移り変わりとともに変革しながら発展し15周年の節目を迎えます。そして、私たちが住む世界は知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて進展するようになってきています。無限の可能性を秘めた子ども達は、そのような社会を生きるために、自分達に求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、自分の人生を切り拓いていくために目的を自ら考えだし納得できる解を見出す能力と協調性を身につけなければなりません。私たち大人は、今までの青少年育成環境を振り返りつつ、積極的に教育に関わり相互関係を築くことで青少年の目標を明確にすることに尽力しなければなりません。</p> <p>本年度、当委員会では、積極的に自ら考え判断し行動できかつ周囲と協働できる子ども達の礎を築きます。また、これまで取り組んできた青少年事業の効果を元に、まわりの大人たちと協力し社会と教育がより共有・連携できる環境の基礎をつくります。</p> <p>そのためには、国籍・性別・年齢・宗教が異なる子ども達がお互いの環境について知り、自己を表現するため意見交換する機会を創出します。そして、子ども達に、共通の目的を達成するための課題を解決しながら共同生活で同じ体験を経ることで、自分の考えを持ちかつ相手の意見を尊重し、社会における大切なことを知ってもらいます。また、皆で共通の目標に向かってチャレンジし、失敗しても成功しても必ず学びがある機会を創出します。その上で、子ども達が自信をもって社会に一步踏み出せる気概を醸成します。そして、今までの青少年育成事業を振り返りつつ、事業関係者や子ども達のまわりの大人たちとの連携を強固にし、継続的に効果的な青少年育成が可能となる環境を整えます。また、世界の現状を知り、共存していることに感謝する機会を創出し、子ども達自身がその経験を国内に啓蒙できる環境を整え子ども達に国際化の大切さを広めます。</p> <p>社会と連携し目標が明確化した教育のもと、主体性・協調性をもった子ども達は、自信をもって世界に羽ばたくことができます。広い世界の中で自らが生きていることの実感が思考力・判断力・行動力を育むきっかけとなり、変化する社会で活躍できる人財への成長につなげます。その子ども達自身が成長し今後の静岡をリードしていく気概を持つことで、「胸が高鳴るSHIZUOKA」の創造につながることを確信しています。</p>			
(2)年間スケジュール			
月	日程	事業内容	
1	18日(土)	京都会議LOMナイトの設営および宿泊手配	↑   